

会 議 概 要

会議の名称	令和4年度第1回社会教育委員会議
開催日時	令和4年4月26日(火) 14時00分 開会 16時00分 閉会
開催場所	湧別町文化センターさざ波 多目的ホール
出席者名	深谷委員長、山本副委員長、梅田委員、安瀬委員、武藤委員、工藤委員、三橋委員、高野委員、山口委員 9名 教委～阿部教育長、坂本課長、中島参事、藤本主幹、渡辺主査、北村主査、仁木主任、鈴木主事
欠席者名	平野委員、杉原委員、毛利委員、渡辺委員、鈴木委員
傍聴人の数	なし
会議の内容	1. 開 会 2. 委員長あいさつ 3. 教育長あいさつ 4. 議 事 議案第1号 令和4年度社会教育推進計画(単年度計画)について 議案第2号 第3次社会教育中期計画について 5. 委員長あいさつ・閉会
会議資料	令和4年度第1回社会教育委員会議案
会議録	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (<input type="checkbox"/> 全文筆記 <input checked="" type="checkbox"/> 要点筆記) <input type="checkbox"/> 無
備考	

てん末書

1 日 時

令和4年4月26日(火) 14時00分～16時00分

2 会 場

湧別町文化センターさざ波 多目的ホール

3 会議及び用務

令和4年度第1回社会教育委員会議

4 出席者

社会教育委員～深谷委員長、山本副委員長、梅田、安瀬、武藤、工藤、三橋、

高野、山口 各委員 9名

欠席～平野、杉原、毛利、渡辺、鈴木 各委員 5名

教委～阿部教育長、坂本課長、中島参事、藤本主幹、渡辺主査

北村主査、仁木主任、鈴木主事

5 結果要旨

○委嘱状の交付について

・今回新たに委員になった高野委員、山口委員に委嘱状の交付を行った。

1. 開 会
2. 深谷委員長あいさつ
3. 教育長あいさつ・自己紹介
4. 諮問書の提出（提出後、教育長は退席）
5. 議 事（深谷委員長による進行）

○議案第1号 令和4年度社会教育推進計画（単年度計画）について

質 疑

（梅田委員）：チューリップ生きがい大学について、年度継続の方法を変え、「連絡しなければ継続」から「連絡しなければ継続

しない」とし、人数がかなり減少しているという事だが、対象が高齢者ということもあり、連絡し忘れてしまっている事もあるかも知れない。年度途中からでも参加できるようにするなど柔軟に対応してほしい。

(渡辺主査)：今年に限り継続しなかった方には一人ずつ電話連絡し意思確認をします。また、申込みしていなかった場合でもその場で参加できるように対応します。

(梅田委員)：現在さざ波ギャラリーで展示しているガラスネガ写真は素晴らしい資料。学校にはどのように周知しているのか。

(中島参事)：対象は高齢者を想定しており学校には特段周知していないが、機会があれば周知します。

(工藤委員)：湧別高校ボランティア部がコロナの影響で停滞している。ぜひ活用を検討してほしい。

(高野委員)：各団体からボランティア部へ依頼が来る。できれば教育委員会で集約していただけると助かる。

(坂本課長)：社会教育事業を集約することであれば可能です。活用を検討します。

(三橋委員)：施設での飲食制限、運動中のマスク着用については解除の見込みはあるのか。

(坂本課長)：現在の状況では解除は難しいが、月1回全庁的な会議で判断しています。状況が良くなれば解除したいと考えています。

○議案第2号 第3次社会教育中期計画について

◆領域の区分について

第2次中期計画と同様に「家庭教育」「少年教育」「青年教育」「成人教育」「高齢者教育」「芸術文化」「図書館」「博物館」「スポーツ振興」「基盤整備」の領域とする。

◆新型コロナについての記載

新型コロナについては事業への影響が大きいため記載は必要。第2章「社会教育中期計画の基本」に新たに節を設ける。内容は各部会で新型コロナについて話し合い、その内容を事務局で集約する。

◆専門部会の構成

事務局案のとおり。欠席されている委員が多いので、部会長、副部会長は第1回目の各部会において決める。

第4部会「図書館」、第5部会「スポーツ活動・スポーツ施設」はそれぞれ図書館協議会委員、スポーツ推進員による部会とする。委員長はオブザーバーとして第4・第5部会にできるかぎり参加する。

領域	担当委員
生涯学習の基盤整備・社会教育施設 ・少年教育活動・青年教育活動	平野、工藤、鈴木、杉原、高野委員
家庭教育活動・成人教育活動・高齢者教育活動	山本・梅田・毛利・渡辺・山口委員
芸術文化活動・博物館文化財活動・文化施設	深谷・安瀬・武藤・三橋委員
図書館活動	図書館協議会委員
スポーツ活動・スポーツ施設	スポーツ推進員

○その他

- ・行事予定表の様式変更について

⇒できる限り時間と場所を記載してほしい。

- ・子どもの読書活動推進計画策定委員の推薦について

⇒三橋委員に決定

- ・子どもの誕生を祝う実行委員会について（梅田委員より）

⇒社会教育委員が中期計画策定の中からできた会なので、現委員の方で興味がある方がいれば実行委員会に参加していただきたい。

5. 閉 会 終了 16時00分

令和4年度 第1回社会教育委員会議案

と き 令和4年4月26日(火)
午後2時00分

ところ 文化センターさざ波 多目的ホール

〈会議日程〉

委嘱状交付

1. 開 会

2. 委員長あいさつ

3. 教育長あいさつ

4. 諮 問 教育長から社会教育委員長へ諮問書提出

5. 議 事

議案第1号 令和4年度社会教育推進計画(単年度計画)について(別冊1)

議案第2号 第3次社会教育中期計画について(別冊2)

その他

- ・社会教育委員各種研修会の実績及び予定について(別冊3)
- ・行事予定表の送付について
- ・子ども読書活動推進計画策定委員の選出について

6. 委員長あいさつ ・ 閉会

湧別町教育委員会

社会教育委員名簿

役 職	氏 名	住 所	出欠	備 考
委員長	深谷 聡	計呂地		
副委員長	山本 重幸	錦町		
	梅田 唯士	上湧別屯田市街地		
	平野 寿雄	上湧別屯田市街地		
	安瀬 勇	上湧別屯田市街地		
	武藤 智和	開盛		
	杉原 武純	旭		
	毛利 美紀子	中湧別北町		
	渡辺 香織	中湧別南町		
	鈴木 由美子	栄町		
	工藤 雄希峰	登栄床		
	三橋 裕介	中湧別南町		
	高野 龍彦	中湧別南町		
	山口 幸一	開盛		

(教育委員会)

役 職	氏 名
教育長	阿部 勉
社会教育課長	坂本 雄仁
社会教育課主幹	藤本 祐司
社会教育G主査	渡辺 武文
社会教育G主任	仁木 宏紀
社会教育G主事	鈴木 健太
社会教育G主事	原 茉畝
社会教育課参事 <small>(図書館館長、ふるさと館JRY・郷土館館長)</small>	中島 一之
図書館主査(湧別図書館)	高橋 結香梨
図書館主査(中湧別図書館)	北村 公樹
ふるさと館JRY・郷土館主任	林 勇介



令和4年度

湧別町の社会教育（案）

推進計画の概要

人、自然、ふるさどから学び、地域と共に生きる



20歳の集い（R4. 1. 9 於：文化センターさざ波）

はじめに

今年2月に、ロシア軍がウクライナに侵攻してからというもの、痛ましいニュースが毎日のように報道されています。また、この戦争の影響により原油価格をはじめとした物価の高騰が懸念されており、世界的に不安定な情勢が続いています。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により交流の機会は制限され、様々なイベントが中止となりました。長期におよぶ人との接触機会の減少によって地域コミュニティの衰退が大きな問題となる一方、オンラインを活用したデジタル技術が一気に普及するなど、コロナ禍を機に私たちを取り巻く環境は大きく変化しています。

このような中、社会教育行政にとっては、感染症対策と社会教育の基本である人と人とのつながりを両立させる新たな事業スタイルの確立が求められています。

本町の社会教育に係る施策も、「人、自然、ふるさとから学び、地域と共に生きる」をテーマとした第2次湧別町社会教育中期計画が計画最終年となります。

それぞれのライフステージに応じた情報提供をはじめ、多様化する要望に向き合うことはもちろん、社会の要請が高い分野の学習機会を提供し、各種活動への積極的参加を奨励するとともに、団体活動の活性化や自主的活動への支援に努め、関係機関をはじめ町民皆さんとともに社会教育を推進してまいります。

さらに、今年度は、令和5年度から5ヵ年の第3次社会教育中期計画の策定年となります。現在の計画の検証に努め、社会教育委員等の皆さんと共に新たな計画を策定したいと考えております。

今後とも、関係各位のより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和4年4月

湧別町教育委員会教育長 阿 部 勉

湧別町社会教育の重点

湧別町社会教育目標（平成25年3月策定）

自ら学び、地域にいかせる人を支える

他人を思いやる、あたたかく豊かな心の人を支える

人と人とのつながりを深める人を支える

健やかな心と体をめざす人を支える

ふるさとを知り、愛する人を支える

湧別町社会教育5ヶ年のテーマ（平成30年～令和4年）

人、自然、ふるさとから学び、地域と共に生きる

令和4年度 湧別町社会教育推進計画

新型コロナウイルスの影響と対策・・・	1
家庭教育・・・・・・・・・・・・・・・・	2
少年教育・・・・・・・・・・・・・・・・	3
青年教育・・・・・・・・・・・・・・・・	4
成人教育・・・・・・・・・・・・・・・・	5
高齢者教育・・・・・・・・・・・・・・・・	6
芸術・文化活動と文化施設整備・・・	7
図書館活動・・・・・・・・・・・・・・・・	8
文化財保護活動・博物館活動・・・	9
スポーツ活動とスポーツ施設整備・・・	10
生涯学習の基盤整備と	
社会教育施設整備・・・・・・・・	11
令和4年度社会教育事業計画・・・	12
資料・・・・・・・・・・・・・・・・	23

新型コロナウイルスの影響と対策

1. 新型コロナウイルス感染症の影響

新型コロナウイルスの感染拡大防止対策が長期化する中で、まん延防止と社会経済活動との両立を図るため、日常の行動変容を促す「新しい生活様式」が提案されるなど、国や道においてもさまざまな対処方針が示されています。また、これらの動きにあわせて社会経済活動の情勢も大きく、急激に、目まぐるしく変化を続けています。

社会教育の分野においても、今後の感染拡大防止対策は、これらの方針に従い進めることが求められます。

これを踏まえて、本年度の社会教育推進計画の策定および計画に基づいた事業の展開にあたっては、下記の対策に示すように感染状況を踏まえ慎重に進めるものとします。

2. 感染拡大防止のための対策

感染拡大を防止しながら、必要な対策を講じたうえで社会経済活動を維持するため、「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」およびこれに基づき各関係団体から業種別の感染拡大予防ガイドラインが示されています。このうち、「公民館」、「劇場、音楽堂等」、「スポーツイベント」、「社会体育施設」、「図書館」、「博物館」におけるガイドラインが社会教育関連として該当します。

町の社会教育施設の開館および社会教育事業の開催については、国および道の方針や上記のガイドライン等を参考に必要な対策を講じたうえで、社会基盤としての役割を継続的に果たし、町民の学習機会を維持するため慎重に進める必要があります。

社会教育施設の開館にあたっては、施設管理者が講じる対策と、施設利用者をお願いする事項を定め、感染防止策の徹底を行います。

また、社会教育事業の実施にあたっては、湧別町社会教育課が作成したガイドラインに基づき、規模や対象、3密状況の程度など、事業の特徴を個別に踏まえたうえで、原則として施設利用に必要な対応を十分に満たす対策を講じたうえで開催します。なお、具体的に十分な対策を講ずることが不可能な場合や、対策を講じることで事業本来の効果が完全に失われたり、事業が成立しない場合には代替事業の実施の検討や、事業の中止または延期の判断をとる場合があります。

あわせて、事業の中止や延期となった場合の代金の払い戻しや補償等の金銭面における対応について整理しておくことも、開催にあたっての必須条件となります。

家庭教育

<推進目標>

子どもは町の宝

手を取り合い、支え合って育てよう

現状と課題

- ◆家庭教育はすべての教育の原点であり、出発点でもあります。子どもにとって「家庭」は、家族から愛され、かけがえのない存在であることを実感し「生きる力」を養う場であるとともに、社会生活での必要なマナー等を身につける場でもあります。
- ◇家庭教育支援の大切さを地域全体で理解するために、広く周知する必要があります。家庭教育に関わる様々な関係機関との連携を強化する必要があります。

推進項目

学習機会の提供

- ・家庭教育への理解を深める研修事業を充実する。
- ・家庭教育を担う保護者が必要とする情報を発信する（情報誌やインターネットなど各種メディアの活用）。
- ・家庭教育事業の実施場所を対象者の集う場所にあわせて設定する方法を検討する。

活動等の支援

- ・子育てサークル等の育成と支援を充実する。

学習環境づくり

- ・子育ての悩みや喜びをわかちあえる気軽に集う場（サロン）の創設について検討する。

連携・ネットワーク

- ・子どもの育ちを支えるネットワークの構築に向けた検討を行う。
- ・家庭教育を担う保護者の発言が反映されるメディア（＝情報媒体）の構築を検討する。
- ・子育て支援センターや図書館など、各種関係機関・団体との協力体制をつくり、連携を図る。

少年教育

<推進目標>

少年は町の未来

夢に向かって力をつけよう

現状と課題

- ◆オンラインの普及により、友達同士で外に遊びに行く機会は減少しており、顔を合せてのコミュニケーションが気薄になっています。
- ◇自然体験や異世代間交流、仲間づくり等の様々な体験活動の提供を求められています。また、次世代を担うリーダー、指導者の養成のため、小学生から高校生・青年まで連携した事業の展開が必要です。

推進項目

課題解決の方策

学習機会の提供

- ・地域の特性を生かした「湧ゆう湧くわく体験塾」等、数多くの体験活動の機会を提供し、豊かな人間性の養成を図る。
- ・年に一度は町内の子ども全員が集まる機会を提供し、充実を図る。

活動等の支援

- ・子ども会や青少年指導センターを支援。
- ・異世代や異年齢との交流機会の拡充により、コミュニケーション能力の向上を図るとともに、地域教育力の向上を図る。

学習環境づくり

- ・小学生や中学生のリーダー養成と活用を図る。
- ・地域の成人指導者の活用を図る。
- ・小学生～中学生～高校生～青年が連携できるよう、青年層からボランティアを積極的に受け入れ、次世代につながる指導者の養成を図る。

連携・ネットワーク

- ・より学習効果が得られるよう学校と社会教育が連携・融合した事業を推進する。
- ・児童センターをはじめ関係機関との連携を図る。
- ・学校の求めに応じ、コミュニティスクールに社会教育が積極的に参加協力を行う。

青年教育

<推進目標>

青年は町の原動力

自らを磨き高めよう

現状と課題

◆近年、ボランティア等の社会貢献活動への参加意識は高まっていますが、依然として参加を敬遠する青年がいるのも事実です。青年組織と連携を図りながら、同じ地域に住む様々な職業・立場を生きる青年が交流できる機会の提供が求められています。

◇青年同士の仲間づくりや集う場の提供が必要であります。青年が気軽に意見を言える機会を設け、活動に積極的に関わる人材の発掘・育成が必要です。

推進項目

課題解決の方策

学習機会の提供

- ・各種研修会等の情報を提供し参加を奨励する。
- ・20歳の集いを開催し、社会人としての意識の高揚を図る。
- ・高校生の社会参加活動を奨励・支援する。

活動等の支援

- ・青年団体協議会が行う自主活動を支援し、広く周知に努める。

学習環境づくり

- ・各青年組織のリーダーが集い、学習する機会と組織化を検討する。(まちづくり青年会議)
- ・若い女性の社会参加を図る。
- ・団体リーダーの養成と活用を図る。
- ・地域活動への参加に向けて意見交換の機会をつくる。

連携・ネットワーク

- ・各青年組織の交流を奨励し、連携・ネットワーク化を促進する。

成人教育

<推進目標>

成人は町の大黒柱

すすんで地域に関わろう

現状と課題

◆成人期は、職場や家庭、地域において、中心的な役割を担い社会に貢献することを期待されている時期ですが、毎日が忙しく参加の意欲がありながら難しい状況にあります。まちづくりの中心的担い手として、積極的に企画・運営に関わることが求められます。

◇時間的余裕のない成人期のニーズに応えられる学習機会を創り出す必要があります。湧別町の歴史、産業、自然等を学ぶ機会を提供する必要があります。

推進項目

課題解決の方策

学習機会の提供

- ・幅広い学習ニーズに応える学習機会の提供と学習意欲を喚起する。
- ・ふるさとを学ぶ機会の充実を図る。
- ・既存事業（町民大学等）の魅力を広く伝える。
- ・地域に関する学習機会を提供する。

活動等の支援

- ・社会教育各種団体等へ支援を図る。
- ・おたがいの仕事や暮らしぶりを知り、地域を知ることにつながる学習活動を支援する。
- ・自主的に企画し実践するサークルなどの活動支援を充実する。
- ・事業を反省評価し、次へ生かす取り組みを支援する。

学習環境づくり

- ・行政と住民の協働事業を推進する。
- ・参加者に開会日時や託児サービスなどを配慮した事業を行う。
- ・気軽に参加し、すすんで活動できるよう情報の提供に努める。

連携・ネットワーク

- ・各種団体間の交流を促進する。
- ・関係機関との連携を図る。

高齢者教育

<推進目標>

高齢者は町の知恵袋

豊かな経験を地域で生かそう

現状と課題

- ◆湧別町の65歳以上の人口は、全体の約39%（令和4年3月末）を占めており、地域の教育力を高めるため、まちづくりにおける高齢者の果たすべき役割はより大きくなっています。
- ◇高齢者が持つ知識や経験、技能を地域や次世代に伝える機会を提供し、生きがいを持てるようにする必要があります。

推進項目

課題解決の方策

学習機会の提供

- ・高齢者の興味関心を呼び起こす事業や、知識や知恵をもった高齢者から学ぶ機会、ふるさとを伝える機会の創設に向けた取り組みを検討する。

活動等の支援

- ・高齢者大学の参加者による自主活動の促進と充実を図る。
- ・次の世代に伝承する異世代間交流事業を充実する。

学習環境づくり

- ・知識や知恵を持つ高齢者を把握し、活かすようコーディネートを実施する
- ・長寿社会を生きるそれぞれの年齢に応じた学習ニーズを把握する。
- ・少人数でも気軽に参加しやすい環境づくりに努める。

連携・ネットワーク

- ・高齢者大学と他団体との連携を図る。
- ・高齢者の豊かな経験を活かすために関係機関との連携を図る。

芸術・文化活動と 文化施設整備

<推進目標>

芸術・文化は未来を生きるヒント
創造力と豊かな心を育てよう

現状と課題

- ◆心の糧となる芸術・文化活動は、一般はもとより、これからの担う青少年の創造的な能力を伸ばす為にも、大きな役割を果たすものとして充実が望まれています。
- ◇鑑賞と創造が両輪となった芸術・文化活動を推進する為にも、文化センターの計画的な設備の更新をし、芸術文化にふれる機会を提供することが重要です。

推進項目

課題解決の方策

学習機会の提供

- ・町民ニーズをふまえた上で、質の高い芸術文化作品の鑑賞機会の提供に努めます。
- ・青少年が芸術文化に触れる機会の提供に努めます。
- ・カルチャー教室、各種体験事業、ワークショップなどの実施により、芸術・文化に親しむ機会の提供に努めます。

活動等の支援

- ・文化連盟を始め、各種文化団体の活動を支援します。
- ・芸術文化奨励事業補助等制度の活用促進に努めます。
- ・学習の成果を活かす場として、町民ギャラリーや総合文化祭等の活用を努めます。

学習環境づくり

- ・芸術・文化事業の情報提供に努めます。
- ・さざ波・TOM両文化センターの特徴を活かした有効活用を努めます。
- ・文化センターの計画的な設備の更新に努めます。

連携・ネットワーク

- ・道や他市町村、北海道文化財団等の関係機関との連携を図ります。
- ・文化連盟、芸術鑑賞団体、各種文化団体と連携し、芸術文化の振興に努めます。

図書館活動

<推進目標>

図書館は町民の憩いの場

みんなで学び楽しもう

現状と課題

◆現在、私たちの社会は生活を彩る様々な情報と、その情報を扱う様々なメディアにあふれて、あらゆる世代の「読書離れ」が危惧される状況です。このような社会環境だからこそ、幼少期から心を育てる環境整備が急務といえます。

◇あらためて読書の重要性が見直され、読書活動を支える社会基盤として「図書館が果たす役割」は、ますます高まってきています。

推進項目

課題解決の方策

図書館資料の収集、 整理保存

- ・町民の読書傾向をふまえ、中湧別図書館と湧別図書館を特徴付けた選書を行い、新鮮な図書購入に努めます。
- ・両館並びに移動図書館車の蔵書構成を区分し維持管理に努めます。

利用促進、 読書機会の提供

- ・湧別、中湧別2館それぞれが持つ特徴を活かした展示等を行います。
- ・ネットワークを活用した読書環境を整備します。
- ・来館の難しい町民に向けての読書環境を整備します。

地域社会との 交流・団体活動

- ・適切な移動図書館車運行を実施し、町内全域に向けて読書活動を推進します。
- ・町内施設・団体を窓口にも、図書館資料を活用した読書活動を推進します。

連携・ネットワーク

- ・学校をはじめとする教育施設や保育・福祉施設との連携を図ります。
- ・「子どもの読書活動推進計画」により、子どもたちの読書環境を整備します。
- ・図書館ボランティアとの連携強化に努めます。
- ・ネットワークを活用した図書館間の連携を図ります。

文化財保護活動 博物館活動

<推進目標>

地域の文化財の保護・保存環境の整備
～ふるさとの豊かな財産を活かそう～

現状と課題

◆埋蔵文化財包蔵地は 57 か所あります。郷土館では湧別地区のあゆみを展示しており、ボランティアからは教育普及活動で協力を得ています。ふるさと館 J R Y では湧別屯田開拓と上湧別地区のあゆみを展示し、教育普及活動では開拓期の衣食住体験などを行っています。

◇文化財保護活動・博物館活動の基本は文化財と博物館資料の保存にあり、これらを将来へと確実に継承する保護計画を立案実行することが最大の課題と考えます。

埋蔵文化財は開発行為による破壊を防がなくてはなりません。また保護を進めると同時に、調査研究を進め教育普及活動などで活用し、存在を広く知ってもらうことも重要です。特にシブノツナイ堅穴住居群の調査を継続し保護環境を整えることは町の責務です。

博物館資料については、博物館・収蔵庫で安定的に保存できる環境を整備しなければなりません。保護・保存に加えて、文化財や博物館資料を町民に広く知ってもらい、その存在意義を考えてもらう機会を提供していくことも重要です。

推進項目

課題解決の方策

文化財の保護・資料収集 調査研究

- ・埋蔵文化財の保存環境の整備に努めます。
- ・シブノツナイ堅穴住居群の発掘調査を継続的にすすめてまいります。
- ・石器、土器類の分類整理をすすめ、湧別地区の先史文化の調査研究を行います。
- ・資料の整理分類をすすめて、データベース・目録等の作成を行い情報公開に努めます。
- ・調査研究の成果を展示・教育普及活動へ活用します。
- ・安定的に資料の保存が可能な収蔵庫の建設を検討します。

博物館展示

- ・先史の展示の充実に努めます。
- ・子供たちに理解しやすい展示づくりを行います。
- ・収蔵展示を行い展示資料の充実に努めます。

博物館教育普及

- ・文化財を知る機会の提供に努めます。
- ・先史・開拓について知る体験学習を拡充します。
- ・学校利用の促進に努めます。
- ・出張学習の内容充実に努めます。
- ・学芸員の専門性・教育力を高める機会を拡充します。
- ・広報を活用し、博物館活動の周知に努めます。

スポーツ活動と スポーツ施設整備

<推進目標>

明日の元気は、きょうのスポーツから
みんなで体を動かし楽しもう

現状と課題

- ◆町民の健康や体力づくりに対する関心の高まりに伴い、スポーツニーズが多様化している一方、少子高齢化によりスポーツ団体の会員不足や子ども達の体力の低下・スポーツ離れ、生活習慣病、指導者不足など多くの課題を抱えているのが現状です。
- ◇各年齢や体力に応じた運動習慣が形成されるよう、だれもがいつでもスポーツに親しむ機会提供と普及、施設の適切な管理運営、指導者の発掘・養成や体育協会・スポーツ少年団などの関係団体の支援体制の充実に努める必要があります。

推進項目

課題解決の方策

生涯スポーツの普及

- ・ライフステージに応じた各種教室、講習会、大会などスポーツに親しむ機会を提供し、健康や体力づくりの増進と住民相互の交流の推進に努めます。
- ・スポーツ合宿による教室や講習会、町民とのふれあいや交流の機会の充実に努めます。

活動等の支援

- ・体育協会やスポーツ少年団など関係団体の育成と自主的な活動支援に努めます。
- ・スポーツ用具を整備することにより、スポーツを始めたい方の支援に努めます。
- ・スポーツ推進委員等によるニュースポーツの研究・普及を図り、町民の健康増進に貢献します。
- ・「するスポーツ」に加え、「支えるスポーツ」として大会等の支援を行うボランティアの確保に努めます。

学習環境づくり

- ・著名な外部講師等の招聘により、技術向上の習得に努めます。
- ・スポーツインストラクター等による個々の体力に応じた運動メニューの作成を推進します。

連携・ネットワーク

- ・住民のニーズを踏まえながら利用しやすいスポーツ施設の計画的な改修等と適正な管理運営、利用実態に即した開館を目指します。
- ・健康福祉分野との連携を図り、運動やスポーツを取り入れた町民の健康づくり教室の開催に努めます。
- ・体育協会やスポーツ少年団、自治会、関係団体等の連携を図り、町民みんなで楽しめる生涯スポーツの推進に努めます。

生涯学習の基盤整備と 社会教育施設整備

<推進目標>

生涯学習の基盤整備は社会教育のかなめ
いつでも、どこでも、だれでも
参加し楽しもう

現状と課題

- ◆社会の急速な変化に伴い、町民の学習ニーズも多様化・高度化し専門的になってきています。
- ◇個々のライフスタイルに応じた学習機会の提供を図り、その成果が適切に評価され社会の中で活かすことができる学習環境の基盤整備に努める必要があります。

推進項目

学習推進体制整備

- ・住民の様々な学習活動がより効果的になるよう関係機関や団体との連携強化に努めます。
- ・総合的に生涯学習を推進するための体制整備に努めます。

施設整備・活用・連携

- ・芭露ファミリースポーツセンターの整備について利用状況とかかる経費を踏まえ、長期的視点から方向性を提案します。
- ・施設間の連携により、学習効果の向上に努めます。

学習情報の収集提供・ 相談体制の充実

- ・住民の学習活動を支援するため、生涯学習情報の収集・提供に努めます。
- ・多様化する学習ニーズに応じ、住民の学習活動が円滑に行われるよう相談体制の充実に努めます。

指導者の養成・活用 団体活動支援

- ・住民の多種多様な学習ニーズに対応するため、様々な分野から指導者を発掘、養成し、人材の活用に努めます。
- ・生涯学習振興奨励事業補助金活用により、サークル等が自主的に学習活動を行う支援に努めます。
- ・ボランティアを育成するとともに、活動の支援に努めます。

連携・ネットワーク

- ・社会教育委員、スポーツ推進委員、図書館協議会委員、各団体、町各部局、地域、学校との連携強化とネットワーク化を図り、生涯学習活動の推進に努めます。
- ・生涯学習に関する情報を収集、データベース化し、ホームページ等での情報提供に努めます。

令和4年度社会教育事業計画

領域	事業名	期日	場所	計画内容	予算額	中期計画推進項目
基盤整備	生涯学習情報の収集・提供・相談体制の充実	年間	—	○情報収集と提供 ・生涯学習情報紙「湧く湧く」の発行（毎月） ・遠軽地区情報紙「なな・なんと情報」の発行（2カ月に1回）（湧別町が当番町） ・町ホームページによる情報の体系的整理と提供 動画による事業記録を収集し活用法を模索 ○相談体制の充実 ・生涯学習に関する相談体制の整備に努める。	「湧く湧く」 印刷製本費 1,212千円	10-1 10-3
	指導者の発掘・養成・活用	年間	—	主体的な学習と地域貢献との好循環をすすめるため、様々な分野から指導者を発掘養成し、その活用を図る。	—	10-4
	団体活動の支援・育成	年間	—	団体リーダーの養成を図るとともに、団体活動が円滑に行われるよう支援を行う。	—	10-4
	生涯学習振興奨励事業	年間	—	グループ・サークル等が主体的に行う講演会や鑑賞会などの学習活動に対して助成を行う。（補助率75%、ただし極めて公益性が高い場合は100%）	3件 300千円	10-4
	施設の整備・運営・連携	年間	—	公共施設再配置計画など上位計画との整合を図りながら、施設の計画的な補修や整備を行うとともに事業連携・施設間連携により学習効果の向上を図る。	別紙施設整備計画のとおり	10-2 10-5
家庭教育	家庭教育研修会	12月	文化センターTOM	家庭教育が困難な現状の共通理解と家庭教育の重要性を啓発するための研修会。講演後に参加者交流会を開催。健康こども課と連携し、ニーズの把握に努め定着を図る。PTA連合会に後援、家庭教育サポート企業に協賛依頼予定。	講師謝礼 100千円 需用費8千円	1-1
	健康こども課との事業協力	年間	—	健康こども課との打合せ会議を開催し、子育て支援センター、子育て世代包括支援センターとの協体制の充実を図る。	—	1-3 1-4
	家庭教育相談	年間	相談室ほか	教育アドバイザーによる子育ての不安や悩みについて身近に相談する機会を提供するため、ホームページの充実を図る。	—	1-2
少年	児童宿泊研修会	6/16(木)～17(金)	ネイパル北見	社会性を培う機会として、全小学校5年生合同で、体験活動を実施。担当教職員の事前打合せと反省会も行い、目的や役割分担の共通理解やノウハウの蓄積を図る。	参加費57千円 (2,500円×1/2×45人) 需用費15千円 バス借上料98千円	2-1 2-4
	子ども会の育成・援助	年間	—	青少年指導センターの活動支援とあわせ、単子子ども会や湧別地区サポート協議会のあり方について指導助言する。	補助金 250千円	2-2
	第1回子ども会リーダー研修会	7/28(木)～29(金)	五鹿山公園	住民自治の基盤ともなる地域子ども会の主体的な活動が進むよう、子ども会のリーダーとしての役割や心構えを学び、そのために必要な知識や技術の習得をめざす。また、青少年指導員の養成と活躍の機会とする。	青少年指導センター会計から支出	2-1 2-2 2-3
	第2回子ども会リーダー研修会	R5.3/28(火)～29(水)	紋別市生涯学習センター			
	教育	百人一首教室	11月～1月 毎週土曜日	農村センター	日本古来の伝統の競技を通して、ルールを守る大切さや礼儀作法を身につける機会とする。教室で継続指導することで、指導者と参加者の地域におけるつながりづくりも目指す。また、指導者の育成を図り実行委員会の活性化を促す。大会は実行委と教委との共催。小1～大人まで対象。	報償費48千円 需用費61千円
第54回新春交歓カルタ大会		R5.1/22(日)				

令和4年度社会教育事業計画

領域	事業名	期 日	場 所	計 画 内 容	予算額	中期計画 推進項目
少年教育	湧うゆう湧くわく体験塾	年間 (月1回程度)	町内ほか	小学校4～6年を対象に体験の機会を提供し、知的探求心、地域への愛着とコミュニケーション能力を養成する。また、成人ボランティアの指導を仰ぐことで地域の教育力活用を図る。	報償費35千円 需用費20千円	2-1 2-2 2-4
	湧別町・新篠津村友好都市少年交流事業	8/2(火)～ 4(木)	五鹿山 キャンプ 場ほか (受入年)	自然や産業体験活動など、児童の派遣と受入の交流を毎年交互に行うことで、お互いのまちの魅力を学ぶとともに交流の輪を広げる。小学校5～6年およびリーダーとして中・高校生も参加。小学生は参加経費の半額、リーダーは全額町負担。	報償費180千円 需用費150千円 保険料16千円 入浴料39千円	2-1 2-2 2-4
青年教育	青年団体の育成・援助	年 間	青年会館 ほか	子どもを対象とした冬季事業、屯田七夕まつりでの出店などを行っている湧別町青年団体協議会を支援し、将来の地域のリーダー育成を図る。	補助金 160千円	3-1 3-2 3-3 3-4
	令和5年20歳の集い	R5.1/8 (日)	文化センターさざ波	20歳を迎えた若者を祝い励ますとともに、社会人としての意識高揚を図る。町主催、教委主管。成年年齢引き下げ(R4)後も20歳を対象とする。 ※軽食ボランティアとの協働 ※現小学6年生に「20歳の自分へ」の作文収集	報償費415千円 需用費41千円	3-1
成人教育	第46回湧別町民大学	9月～11月 全5回	文化センターTOM	有志実行委員会組織主催。各ジャンルの講師を招き、今日的課題や地域課題等の解決に向けた学習機会を提供する。団体とのコラボ企画や、勤労世代の参加促進にも努める。町PTA連合会との連携事業。	運営費助成 2,000千円	
	第12回ふるさと講座	11月	未定	町の人を講師に、地域の価値を学び共感する機会提供のための座学講座。郷土学サークル「ふるさとから学ぶ会」との共催で行う。今回のテーマは「オホーツク海」	講師謝礼 20千円	4-1 4-2 4-3 4-4
	第10回我がまち湧別町のお宝をたずねる旅	5/14 (土)	五鹿山公園	普段見落としがちな町の価値(＝お宝)を、それに詳しい講師の案内によってバスツアー形式でたずね歩き価値を共有する。昨年、一昨年中止となった「五鹿山」の魅力を体感する企画	講師謝礼10千円 借上料55千円	
	PTA団体への援助	年 間	—	各学校のPTAやその連合組織である町PTA連合会の学習活動を支援する。	補助金 180千円	4-2 4-4
	ボランティア団体との連携	年 間	文化センターさざ波ほか	はまなすボランティアなど自主的な奉仕活動を支援する。	—	4-2 4-4
高齢者教育	チューリップ生きがい大学の開設	年間 (月1回程度)	文化センターTOM・さざ波ほか	高齢者が充実した生活を送られるよう学習活動の機会を提供する。自主活動としてのクラブ活動も支援する。	報償費252千円 需用費36千円 印刷製本費83千円 借上料629千円	
	世代間交流事業・社会活動参加奨励	年 間	学校ほか	学校からの求めに応じ、小中学校の総合的な学習への支援など高齢者の持つ豊かな知恵・技術を活用する場の提供に努めるとともに相互の交流を図る。	—	5-1 5-2 5-3 5-4
	【新規】アクティブシニア向け新規事業	年 間	文化センターさざ波ほか	自分に興味があるジャンルについて3カ月単位で学ぶ「短期大学事業」、自ら設定した学習状況などを教育アドバイザーが定期的に指導する「通信制大学事業」、資格にとらわれず特技や趣味を活かした「人材バンク事業」を実施し、アクティブシニアの新たな学習の機会を提供する。	—	
芸術の振興・文化活動	文化団体の育成援助	年 間	—	芸術文化活動の振興を図るため文化連盟等の育成援助を行う。	補助金 350千円	6-2 6-4
	鑑賞機会提供団体の育成援助	年 間	各文化センター	A.良いもの見よう聞こう会の活動支援 B.企画委員会ビッグ・ウェーブの活動支援 C.その他実行委員会等への活動支援	補助金 8,000千円	6-1 6-2 6-4
	幼児芸術鑑賞会	7/14(木) 7/15(金)	文化センター・児童センター	幼児対象(2日2公演) 公演内容 「きりがみマジック和楽器コンサート」 尚Ezo'n music	公演料 500千円	6-1

令和4年度社会教育事業計画

領域	事業名	期日	場所	計画内容	予算額	中期計画 推進項目
芸術文化活動の振興	児童芸術鑑賞会	9/8(木)	文化センターさざ波	小学生全学年対象(1日1公演又は2公演) 公演内容 「海底2万マイル」劇団ボブラ ※町内小学校・学園前期5～6年生の紋別市鑑賞会の参加は未定。令和4年度開催未定。	公演料 825千円	6-1
	中学生芸術鑑賞会	10/5(水)	文化センターさざ波	中学生全学年対象(1公演) 公演内容 「真夏の夜の夢」(株)笑う猫文化事業局	公演料 500千円	6-1
	一般芸術鑑賞会	11/8(水)	文化センターさざ波	町民対象(1公演) 公演内容 寄席公演 (株)影向舎	公演料 3,500千円	6-1
	子どもアート体験事業	未定	未定	国内外で活躍するアーティストが学校や文化施設に出向き、子ども達と一緒にワークショップや創作活動を行い交流する事業。講師：神田山陽氏	—	6-1
	文化芸術作品展示会等の奨励	年間	文化センター	湧別町文化連盟加盟団体や町民個人を中心に、絵画や写真などの展示を実施し、芸術文化活動の振興を図る。	—	6-2 6-3 6-4
	カルチャー教室	年間	町内施設	子どもから大人までを対象に興味や一般教養など町民のニーズに合った講座等の開催に努める。	講師謝礼 80千円	6-1
大会の開催等	第37回サロマ湖100kmウルトラマラソン【中止】	6/26(日)	湧別総合体育館裏	100kmスタート午前5時00分(100kmの部) 総合体育館裏(東道路上) ※スマートフォンを活用した代替大会を検討	負担金3,000千円	
	湧別町少年柔道大会「上野カップ2022」	10/8(土)～9(日)	湧別総合体育館・武道館	本町のふるさと応援大使であり、柔道オリンピックメダリストの上野姉妹の冠を掲げた全道規模の小・中学生の柔道大会を開催することにより、少年相互の親睦を深め、町の活性化や交流人口の増加を図る。 参加規模：道内外小・中学生400名 大会には上野姉妹のほか、現役の女子柔道の著名人を招致する予定。	歳入総額 2,986千円 参加料700千円 スポーツ振興くじ 2,286千円 歳出総額 3,593千円	9-1 9-2 9-3 9-4
	第47回町民300歳バレーボール大会	12/4(日)	湧別総合体育館	自治会対抗形式9人制バレーボール大会	消耗品31千円 食糧費33千円	
スポーツ教室・講習会事業	町民ランニング教室	6/12(日)	百年記念広場	基本姿勢から高度な技術、さらには運動前後のストレッチを習得することで、運動能力の向上や怪我の予防、運動を始めるきっかけづくりを図る。 ①ランニング教室(成人) ②陸上教室 講師：作、AC北海道代表 作田 徹 氏 作、AC北海道 菊地 真司 氏 作、AC北海道 澤井 玄 氏 サポート：北海学園大学陸上部 対象：小学生～一般	講師謝礼 120千円	9-1 9-2 9-3
	ボルダリング体験教室	5月～6月	中湧別総合体育館	ボルダリングの基礎を学び楽しみ方を味わわせるとともに、技法を習得させる。 講師：遠軽高校山岳部監督 畑野 和宏 氏 対象：小学生	講師謝礼 10千円	
	スラックライン体験教室	5月～6月	中湧別総合体育館	スラックラインの基礎を学び楽しみ方を味わわせるとともに、技法を習得させる。 講師：北海道スラックライン代表 山森 和也 氏 対象：小学生～一般	講師謝礼 60千円	

令和4年度社会教育事業計画

領域	事業名	期日	場所	計画内容	予算額	中期計画 推進項目
スポーツ 教室 ・ 講習 会 事業	ジュニアスイミングスクール	7月、8月	湧別プール	正しい泳法を習得させるとともに、泳ぐことの楽しさを味わわせ、水泳の普及拡大を図る。	講師謝礼 48千円	9-1 9-2 9-3
	【新規】 ニュースポーツ deあそぼ	9月～11月	湧別総体 他	町内の成人層を対象にスポーツを通じて健康や体力づくりを高めるきっかけづくりと新しいスポーツの普及や地域の活性化を図る。 指導者 運動指導職員 原 茉畝 月2回（9月～11月予定）ニュースポーツ等を実施。	—	
	少年少女初心者スケート教室	R5. 1月予定	芭露ス ケートリ ンク	初心者に対してスケートの楽しさを味わわせるとともに、技法を習得させる。	講師謝礼 12千円	
	クロスカントリー スキー教室	R5.2/4 (土)	五鹿山ス キー場	スキーの楽しさを味わわせるとともに、初心者から上級者まで幅広い技法を習得させる。 講師：NPO法人北海道ライフスポーツ推進協会 理事長 島田 武彦 氏	講師謝礼 60千円 スポーツ推進委員 報酬7千円	
	健康運動教室	4月～3月	湧別総合 体育館	トレーニング器具等を使った個人（または集団や団体）指導を行うことにより町民に健康維持増進と体力の向上を図る。 担当：運動指導職員 原 茉畝	—	
運動指導	4月～3月	湧別総合 体育館他	①湧別総合体育館トレーニングルーム指導 水・金（9：00～11：00） 火・木（14：00～16：00） ※曜日・時間は変更する可能性有 ②個別運動相談・トレーニングメニュー作成 ③保健福祉分野との連携	—		
スポーツ 推進 委員 事業	チャレンジスポーツ ツクール事業	5月～3月	湧別総合 体育館他	低学年から様々なスポーツに触れることで、自分に合ったスポーツを見つけ出すきっかけづくりと、学校を越えた友達づくりの一助とする。 5月 五鹿山マラソン・入学式（五鹿山ロッジ） 6月 フットベース（湧別総合体育館裏） 7月 キャンプ（湧別総合体育館裏） 8月 室内雪合戦（湧別総合体育館） 9月 パークゴルフ（湧別運動公園） 10月 風船バレー・ミニバレー（湧別総合体育館） 11月 カローリング・ハッピーボーリング・ベタンク（湧別総合体育館） 12月 フロアボール（湧別総合体育館） 1月 スケート体験・氷上ホッケー（芭露スケートリンク） 2月 タグラグビー（湧別総合体育館） 3月 ミニ運動会・卒業式（湧別総合体育館）	講師謝礼 パークゴルフ 5千円 フロアボール 10千円 タグラグビー 5千円 スポーツ推進委員 報酬269千円	9-1 9-2 9-3
	巡回スポーツ指導	随 時	町 内	自治会・老人クラブ等の要請に基づき、スポーツ推進委員が出向き、軽スポーツやレクリエーションの指導を行う。	スポーツ推進委員 報酬13千円	9-2 9-3
	スポーツ推進委員 研修	随 時	管内 道内	町民のスポーツ活動の的確な支援を行うため、研修を通じて委員としての資質向上を図る。 遠軽・紋別地区スポーツ推進委員研修会 オホーツク管内社会体育振興セミナー 北海道スポーツ推進委員研究協議会	スポーツ推進委員 報酬122千円 費用弁償98千円	

令和4年度社会教育事業計画

領域	事業名	期日	場所	計画内容	予算額	中期計画 推進項目
団体活動の育成援助等	少年スポーツ団体の育成援助	年間	-	少年団本部への補助	補助金600千円	9-2 9-4
	一般スポーツ団体の育成援助	年間	-	体育協会への補助	補助金735千円	
	大会出場助成	年間	-	全道大会以上の出場者に対して遠征費の一部を助成する。(湧別町スポーツ・文化遠征費補助金)	補助金2,000千円	
	合宿誘致助成	年間	各施設	合宿を誘致することにより町のスポーツの振興を図る。(湧別町スポーツ・文化合宿誘致事業補助金)	補助金1,464千円 詳細は別紙関連事業に記載のとおり	
施設の整備活用	施設の整備	年間	各施設	施設の点検、適正な維持管理を図る。	詳細は別紙社会教育施設整備計画のとおり	9-4
	施設の活用	年間	各施設	指定管理施設の適正かつ効率的な運営に対する監督、学校開放施設に関する利用調整など体育施設の有効活用を図る。	学校開放運営報償 120千円	
その他	スポーツ安全保険の加入促進	随時	-	広報及び事故手続き等の補助	-	9-2
図書館	図書館資料の収集、整理、保存	通年	両館	両館を特徴付けた選書を行い、それぞれに蔵書を区分し保存する。 ・資料等計画的に幅広く豊富に備え、適切な蔵書構成を維持する。 ・貴重資料のデジタル保存	資料費(図書、雑誌、新聞、視聴覚) 8,270千円	7-1
	利用促進、読書機会の提供	通年	両館	第3次社会教育中期計画策定 第2次子どもの読書活動推進計画の策定		7-2
				調べものの相談、案内を通して利用促進を行う。		7-2
				新着図書案内や図書館行事など、最新情報の提供に努める。 ・読書通帳提供 ・図書館だより、新着図書案内の発行 ・ホームページの活用		7-2
				来館が困難な町民に対して宅配便を活用して個別に配送貸出を行う。 ・宅配貸出サービス		7-2
活動	ブックスタート	毎月1回	健診会場	4ヶ月児健診時に、乳児とその保護者へブックスタートバック(絵本などが入ったバック)をメッセージと共に手渡す。また、5歳児健診時には絵本を1冊とブックガイドを渡す。 協力(バック制作) ・ルピナスの会 協力(読み聞かせ) ・リーディング倶楽部たんぽぽ ・湧高ボランティア部	資料費(絵本) 142千円	7-2
	絵本くらぶ	年間 (毎月1回)	両館	3歳までの乳幼児がいる家庭におすすめ本セットを宅配する。(登録制)		7-3

令和4年度社会教育事業計画

領域	事業名	期日	場所	計画内容	予算額	中期計画 推進項目
図書館	移動図書館車の運行	通年	両館	移動図書館車で町内を巡回し、広域サービスを実施する。機動性を活かし遠隔地域を中心に据え、子どもから大人まで図書に出会う場を広げ、読書活動の推進を図る。 図書館職員が選本した文庫を配本する。 ・各小中学校、義務教育学校、湧別高校 ・各郵便局 ・児童施設 ・高齢者施設等		7-4
	学校図書館支援	通年	町内学校	・クラス配本 ・学校図書館用図書の購入支援 ・学校図書館レイアウト相談 ・学校図書館蔵書管理、蔵書計画 ・図書館見学の受入 ・職場体験の受入 ・読書オリエンテーション ・家読おすすめ絵本リスト作成配布		7-2 7-3
図書館	古本コーナー	通年	両館	古本、古雑誌のリサイクル活動。		7-2 7-3
	特別展示	9月～10月	両館	町民大学講師著作展示		7-2 7-3
		年間	両館	テーマ：年中行事		
		4/23～5/10	両館	子ども読書週間		
		10/27～12/5	両館	読書週間		
		未定	中湧別図書館	絵本原画展示	著作物使用料 30千円	
年間	両館	協力展示（展示スペースの貸出）	—			
図書館	連携・ネットワーク	通年	両館	ボランティア、サークル育成 ・読み聞かせ活動支援（りんごっこ、リーディング倶楽部たんぼぼ、湧別高校ボランティア部）		7-4
		年3回	児童センター	児童センター事業支援 ・読み聞かせ会参加協力、読書推進事業の実施		
		会議3回 研修2回	湧別図書館	図書館協議会 ・定例会議 ・委員視察研修 （遠紋ブロック研修会：遠軽町） （オホーツク管内公共図書館協議会：遠軽町）		
		7月～9月	両館	・北海道教育委員会主催「本を読んでファイターズを応援しよう」キャンペーン参加		

令和4年度社会教育事業計画

領域	事業名	期日	場所	計画内容	予算額	中期計画推進項目
文化財保護活動	文化財の保護① 埋蔵文化財	年間	町内各所	<ul style="list-style-type: none"> ○発行行為に伴う埋蔵文化財の保護事業 <ul style="list-style-type: none"> ・開発事業者との事前協議 ・所在調査、試掘調査 ○埋蔵文化財包蔵地の状況把握 <ul style="list-style-type: none"> ・現状確認（遺跡パトロール） ・周知資料（台帳等）の整備 ◎シブノツナイ竪穴住居跡の調査 <ul style="list-style-type: none"> ・発掘調査：竪穴住居跡の年代等内容確認 ＊7月中旬～8月中旬予定 ・発掘調査概要報告書の刊行 ○シブノツナイ竪穴住居群調査検討委員会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・有識者3名、国・道の担当者2名程度 ・夏と冬の2回開催 	委託料 （年代測定等） 1,037千円 印刷製本費 231千円	8-1
	文化財の保護② 自然関連	年間	町内各所	<ul style="list-style-type: none"> ○北海道指定文化財アッケシ草群の経過観察 ○天然記念物の手続（死亡・はく製・調査） <ul style="list-style-type: none"> ・オジロワシ ・タンチョウ ○記念木業務における関連部署との調整 		8-1
博物館活動	博物館資料① 収集	年間	郷土館・ ふるさと館JRY	<ul style="list-style-type: none"> 【開拓関連資料】 ○資料寄贈への対応 【考古資料】 ○発掘調査に伴う出土資料の文化財認定と譲与申請 		8-1
	博物館資料② 整理・保管	年間	郷土館・ ふるさと館JRY ・収蔵庫	<ul style="list-style-type: none"> ○考古資料 <ul style="list-style-type: none"> ・シブノツナイ 竪穴住居群出土資料の整理 ○開拓関連資料 <ul style="list-style-type: none"> ・資料の保存環境整備 ○収蔵庫の管理と保管資料の状況確認 <ul style="list-style-type: none"> ・金属資料の清掃整理（防さび塗料塗布等） ・ガラスネガの写真的整理公開 ・資料外保管物の処分 ・JRY収蔵量増加 ・資料移動（旧芭小体育館） ○収蔵資料の特別利用許可に関する業務 		8-1
	調査研究	年間	—	<ul style="list-style-type: none"> 【博物館資料（開拓期）の保存・活用】 ○保存 <ul style="list-style-type: none"> ◎屯田関連情報の収集 ○活用 <ul style="list-style-type: none"> ・体験活動の系統化 ・開拓期の衣食住 ・冬期の生活 【埋蔵文化財の保存・活用、博物館教育】 ○保存 <ul style="list-style-type: none"> （主にシブノツナイ竪穴住居群） ・竪穴住居跡の集落形成に関する研究 ○活用 <ul style="list-style-type: none"> ・遺跡を活用した博物館教育の実践的研究 ○その他 <ul style="list-style-type: none"> ・大学等研究者との共同研究 		8-1
	展示	年間	郷土館 ふるさと館JRY	<ul style="list-style-type: none"> ○収蔵資料の展示 <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度の発掘調査成果展（仮） ○郷土館協力員（旧ボランティアガイド） <ul style="list-style-type: none"> ・展示解説（7月～8月、団体見学日など） 		8-2
			<ul style="list-style-type: none"> ○常設展示更新 <ul style="list-style-type: none"> ・解説パネルの追加 ・資料名表示の更新 ○収蔵資料展示 <ul style="list-style-type: none"> ・写真展（仮） ○収蔵展示室整備 		8-2	

令和4年度社会教育事業計画

領域	事業名	期日	場所	計画内容	予算額	中期計画推進項目
博物館活動	博物館教育① 学校授業・研修会・講座	年間	郷土館・ ふるさと館JRY	<p>【学校授業・研修会・講座】</p> <p>○開拓の歴史 （博物館が持つ過去の生活情報の内、日常生活に活用できるものを体験学習として実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・労働体験（鋸・斧・鉋） ・炊飯体験（薪ストーブ・羽釜） ・開拓期の衣体験 ・囲炉裏疑似体験（屯田生活体験館） <p>○博物館親子講座</p> <p>○先史文化 （文化財である遺跡に触れ、親しむ機会の提供）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先史の工夫を学ぶモノづくり学習（土器・勾玉） ・遺跡に親しむフィールドワーク ・遺跡の知識を深める講座 遺跡調査報告会（11月予定） * 調査成果に応じて実施を判断する ・発掘調査の現地説明（主に学校を対象） ・発掘調査を通じた大学との連携 	講師謝礼 70千円	8-3
	博物館教育② 広報・情報提供	年間	—	<p>【広報・情報提供】</p> <p>○博物館だよりの発行（湧く湧く内、HP）</p> <p>○郷土史に関する情報提供及び質問対応（レファレンス）</p>		8-3

中期計画推進項目の欄は、第2次湧別町社会教育中期計画における推進項目との対応を示すものです。

中期計画における領域	推進項目	表記
第1節 家庭教育	学習機会の提供	1-1
	活動等の支援	1-2
	学習環境づくり	1-3
	連携ネットワーク	1-4
第2節 少年教育	学習機会の提供	2-1
	活動等の支援	2-2
	学習環境づくり	2-3
	連携ネットワーク	2-4
⋮	⋮	⋮
第10節 生涯学習の基盤整備	学習推進体制整備	10-1
	施設整備・活用	10-2
	学習情報収集・相談	10-3
	指導者養成・団体	10-4
	連携ネットワーク	10-5

令和4年度 関連事業（後援・連携事業等）

団体名	事業名	期日	場所	計画内容等	備考
青少年指導センター	子ども会フットベースボール大会	7/10 (日)	未定	単位子ども会の大会への参加を通して、青少年の健全育成を図ると同時に、地域子ども会活動の促進と、相互の交流を図る。また、監督会議や反省会等を通じ、育成会で構成される組織運営の健全化を図り、地域自治の基盤づくりを支援する。	
	子ども会交通安全駅伝競走大会	8/28 (日)	開盛小 → 中湧別小		
	子ども会ミニバレーボール大会	11/20 (日)	中湧別総合体育館 湧別総合体育館		
リーダー事業	子ども会リーダー研修会	7/28(木)～ 29(金) R5.3/28(火) ～29(水)	五鹿山公園 紋別生涯学習センター	社会教育事業 少年教育参照	
	中高生リーダーの養成	年間	ふるさと館JRY ほか	リーダー研修会の企画運営などを行う、中・高生リーダークラブ「E=Q∇L（イクアル）」および「Rainbow prop（レインボープロップ）」と、その指導にあたる青少年指導員の活動を支援し、地域づくりやまちづくりに参画できるリーダーの養成を図る。	
町民会議	青少年健全育成町民会議事業	年間		青少年のたくましく健全な成長と青少年問題の理解を深めるとともに健全育成を図る。①あいさつ運動②指導、補導③青少年だより発行④優良青少年表彰	
文化連盟	総合文化祭	芸能の部 10/30(日) 展示の部 10/15(土) 16(日)	文化センターさざ波（芸能） 文化センターTOM（展示）	町内の芸術・文化関係者による日頃の活動成果の発表の機会と、町民に芸術・文化活動にふれてもらい文化の振興、発展を促します。	
良いもの見よう聞こう会	芸術鑑賞会	通年	各文化センター	8月26日（金） 文化センターさざ波 清水ミチコ トーク&ライブ 9月10日（土） 文化センターさざ波 ミッフィーこどもミュージカル	
ビッグ・ウェーブ	芸術鑑賞会	通年	各文化センター	未定	

令和4年度 関連事業（後援・連携事業等）

団体名	事業名	期日	場所	計画内容等	備考
体育協会	ゆうべつ五鹿山マラソン2022	5/8 (日)	五鹿山スキー場	五鹿山スキー場を駆け上がるマラソン大会を実施することにより、町民の体力増進や健康づくりを高めるきっかけづくりと地域の更なる一体感の醸成を図ることを目的とする。	教委、スポーツ推進委員も運営協力
実	チャレンジデー2022	5/25 (水)	町内	住民総参加型のスポーツイベントである「チャレンジデー」に参加し、町民の健康づくりや体力づくり、スポーツやレクリエーション活動への参加意欲の高揚と習慣化を推進する。	
行	駒澤大学合気道合宿	7月～8月	レイクパレス	合宿中に行われる公開練習や演武会、教室等の開催により合気道の普及を図るとともに町民との交流を図る。 合宿予定人員：30名予定	
委	合気道正道友和会合宿	9月	レイクパレス	町内で合宿を行い、公開練習等を通して町民と交流を図るとともに合気道の普及を図る。 合宿予定人員：10名予定	
員	北柔会関連道場柔道合宿	10月	湧別総合体育館	柔道合宿のほか、町内の子ども達に対する柔道教室を開催することで、柔道の普及、交流人口の拡大を図る。 合宿予定人員：80名（指導者含む）予定	
会	湧別原野林-ツクノカントリースキー大会	R5. 2/26 (日)	遠軽町 →湧別町	原野コース80km、北大雪コース56km、遠軽コース22km、湧別コース24km、10kmコース、5kmコース、駅伝コース95km	

令和4年度社会教育施設整備計画（500千円以上または主要なもの）

（単位：千円）

施設名	改修・整備等内容	事業費	備考
文化センター さざ波・TOM共通	非常用設備修繕<排煙窓>	2,200	
	情報通信ネットワーク環境整備工事	850	
文化センターさざ波	舞台吊物装置改修工事（全7期中1期目）	27,000	
	建物塗装工事（さざ波タワー部 全5期中5期目）	22,600	
	音響設備取替工事〈多目的ホール〉	3,500	
湧別総合体育館	トレーニング機器リース機器購入 トレッドミル、アップライトバイク インパクトチェストプレス インパクトラットプルダウン インスティンクトペクトラルフライ/リアデルト インスティンクトレックプレス/カーフ インスティンクトレックエクステンション/カーフ 各1台（合計7台）	リース4月 ～6月3ヶ月 分 325 購入987	令和4年6月 30日でリー ス期間満了 のため買取
湧別総合体育館	LED化改修工事	2,400	外灯6灯
湧別プール		12,900	場内42灯
中湧別総合体育館	高圧受電設備改修工事	800	
湧別総合体育館	手押し式芝刈機の購入	565	
湧別屋内ゲートボール場	非常用放送設備工事	1,940	
五鹿山スキー場	リフト緊張索更新及び誘導滑車整備工事	6,150	
湧別図書館	暖房給湯温水器更新工事一式	7,100	工事請負費
ふるさと館JRY	メイン展示室水銀灯修繕	1,215	

社会教育委員

任期 令和3年4月1日～令和5年3月31日

役職	氏名	職業・主な所属等	住所	備考
委員長	深谷 聡	僧侶・町民芝居	計呂地	
副委員長	山本 重幸	団体職員アウトドアクラブ会員	錦町	
	梅田 唯士	ふるさとから学ぶ会	上湧別屯田市街地	
	平野 寿雄	農業・青少年指導センター	上湧別屯田市街地	
	安瀬 勇	上湧別郵便局長・ふるさとから学ぶ会	上湧別屯田市街地	
	武藤 智和	開盛郵便局長	開盛	
	杉原 武純	農業・PTA	旭	
	毛利 美紀子	自営業	中湧別北町	
	渡辺 香織	体操指導士	中湧別南町	
	鈴木 由美子	自営業商工会女性部	栄町	
	工藤 雄希峰	漁業・青少年指導センター	登栄床	
	三橋 裕介	商工会	中湧別南町	
	高野 龍彦	湧別高等学校長	中湧別南町	令和4年4月22日～
	山口 幸一	開盛小学校長	開盛	令和4年4月22日～

図書館協議会委員

任期 令和3年4月1日～令和5年3月31日

役職	氏名	職業・主な所属等	住所	備考
委員長	内野 静香	国際交流推進委員	港町	
副委員長	菊地 京子	学校支援員・リーグ倶楽部たんぼぼ	錦町	
	野田 直人	団体職員・青少年指導センター	上湧別屯田市街地	
	菊地 得典	僧侶	上芭露	
	藤井 清美	商工会女性部	中湧別北町	
	山口 幸一	開盛小学校長	開盛	令和4年4月22日～

スポーツ推進委員

任期 令和3年4月1日～令和5年3月31日

役職	氏名	職業・主な所属等	住所	備考
委員長	石川 克己	団体職員	錦町	
副委員長	小橋 百合香	学校教員	中湧別南町	
	鈴木 義広		中湧別北町	
	黒田 志津保	団体職員	中湧別中町	
	水牧 一郎	会社員	中湧別南町	
	白田 ゆかり	団体職員	栄町	
	木村 栄	漁業	芭露	
	峯田 ゆかり	団体職員	上湧別屯田市街地	
	海谷 政貴	団体職員	中湧別北町	
	岸下 彩乃	学校教員	中湧別南町	
	岸 貴元	会社員	中湧別中町	
	藤崎 俊介	学校教員	中湧別南町	令和4年4月22日～

○教育委員会社会教育関係職員

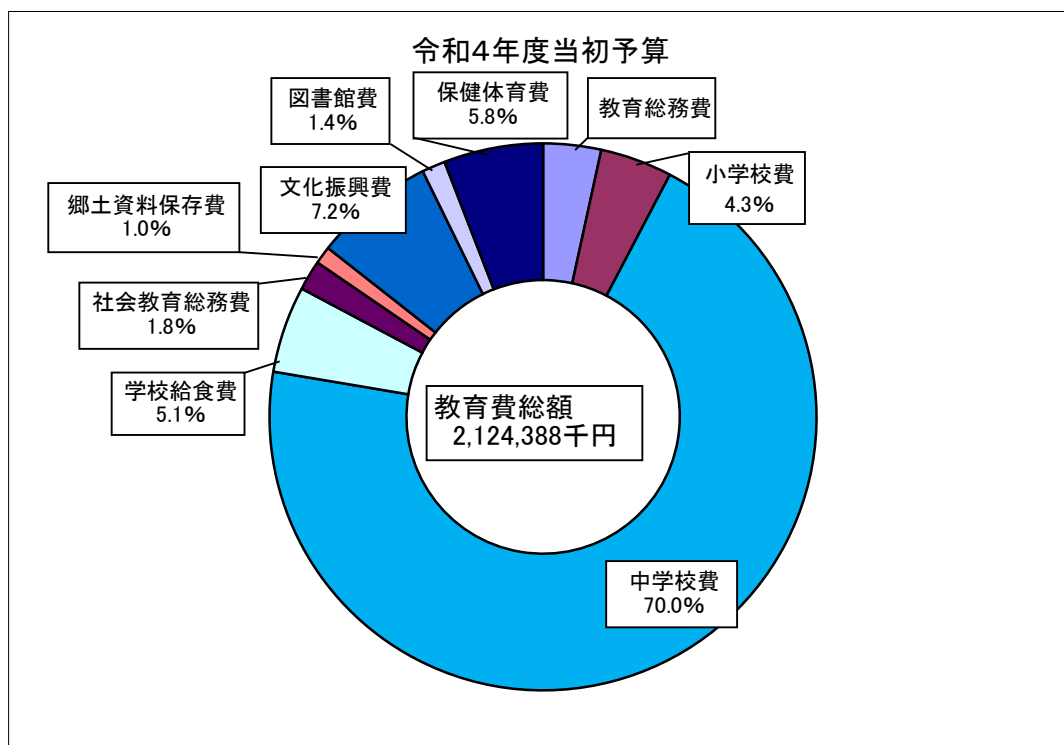
教 育 長
阿 部 勉

課 長	課長補佐・主幹 (グループリーダー)	主 査	主 任 等
坂本 雄仁	社会教育G 藤本 祐司	渡辺 武文	主任 仁木 宏紀 鈴木 健太 原 茉畝
参事 中島 一之	図書館 (中島 一之) (館長)	高橋 結香梨 (湧別図書館) 北村 公樹 (中湧別図書館)	
	ふるさと館JRY 郷土館 (中島 一之) (館長)		主任 林 勇介

Gはグループ、()は兼務職員、《 》は再任用職員

教 育 予 算

一般会計当初予算 9,710,000千円（前年度： 8,914,000千円）
 に対する
 教育費割合 21.88%（前年度：11.64%）
 社会教育費割合 3.77%（前年度：3.62%）



教育費
 住民一人当たり 258,630 円

社会教育費
 住民一人当たり 44,552 円

（R4.3月末現在 8,214 人）

関係団体補助金

補助金交付団体	補助金(単位:千円)		構成団体数
	令和4年度	令和3年度	
青少年指導センター	250	250	22
青年団体協議会	160	160	—
P T A 連 合 会	180	180	8
文 化 連 盟	350	350	24
体 育 協 会	735	735	18
ス ポ ー ツ 少 年 団	600	600	10

教育費内訳

(予算額単位:千円)

科	目	予算額	割合(%)	予算額計	割合(%)
教育総務費 (総務費)	教育委員会費	2,130	0.1	72,462	3.4
	事務局費	66,255	3.1		
	国際交流費	4,077	0.2		
小学校費	学校管理費	59,383	2.8	90,690	4.3
	教育振興費	31,307	1.5		
中学校費	学校管理費	1,470,074	69.2	1,486,317	70.0
	教育振興費	16,243	0.8		
学校給食費	学校給食費	108,965	5.1	108,965	5.1
小計		1,758,434	82.8	1,758,434	82.8
社会教育費 (民生費)	社会教育総務費	37,471	1.8	37,833	1.8
	児童福祉総務費	362	0.0		
	郷土資料保存費	21,905	1.0	21,905	1.0
	文化振興費	152,379	7.2	152,379	7.2
	図書館費	29,151	1.4	29,151	1.4
保健体育費	保健体育総務費	13,346	0.6	124,686	5.8
	体育施設費	111,340	5.2		
小計		365,954	17.2	365,954	17.2
教育費総額		2,124,388	100.0	2,124,388	100.0

※割合は端数調整により合計が合わない場合があります。

社会教育施設一覧表

区分	施設名	住所	開館日・開館時間等	電話番号	備考
教育文化 関連施設	文化センターTOM	中湧別中町3020番地の1	火～日：9:00～22:00 月：9:00～17:00	2-2188	大ホール移動席382席、最大752席
	文化センターさざ波	栄町219番地の1		5-3189	大ホール固定席422席
	上湧別農村環境改善センター	上湧別屯田市街地67番地の8	月・火：13:30～21:30 水～金：9:00～21:30 土・日・祝：9:00～17:00	2-4506	
	芭露畜産研修センター	芭露248番地の5	月・木・土・日・祝： 9:00～18:00 火・水・金：13:00～22:00	6-2353	
	ふるさと館JRY	北兵村一区588番地	火～日：9:00～16:30 月：休館	2-3000	屯田兵を中心とした郷土資料の展示
	郷土館	栄町155番地の1		5-2229	郷土資料の展示
	中湧別図書館（文化センターTOM内）	中湧別中町3020番地の1	火～日：10:00～18:00 月・図書整理日：休館	2-3150	
	湧別図書館	栄町219番地の1		5-3122	
体育関連 施設	中湧別総合体育館	中湧別南町905番地の2	月：14:00～22:00 火～土：9:00～22:00 日・祝：9:00～17:00	2-4186	
	湧別総合体育館	栄町155番地の1	火～土：9:00～22:00 日・祝：9:00～17:00 月：休館	5-2229	
	武道館	栄町155番地の1			
	上湧別農村センター多目的ホール	上湧別屯田市街地67番地の8	月・火：13:30～21:30 水～金：9:00～21:30 土・日・祝：9:00～17:00	2-4506	
	芭露ファミリースポーツセンター	芭露248番地の5	月・木・土・日・祝： 9:00～18:00 火・水・金：13:00～22:00	6-2353	
	湧別プール	栄町155番地の1	火～土：10:00～21:00 日・祝：10:00～17:00 月：休館 利用期間 5月～10月	5-2229	
	中湧別野球場（夜間照明付）	中湧別南町905番地	6:00～21:30 利用期間 4月～11月	2-4186	問い合わせ：中湧別総合体育館
	湧別運動公園（夜間照明付野球場・テニスコート、多目的広場）	東37番地の1	6:00～22:00 利用期間 4月～11月	5-3189	問い合わせ：文化センターさざ波
	上湧別ソフトボール場（夜間照明付）	上湧別屯田市街地68番地	6:00～21:30 利用期間 4月～11月	2-4506	問い合わせ：上湧別農村環境改善センター
	中湧別ゲートボール場	中湧別東町3019番地の1	月：9:00～17:00 火～日・祝：9:00～22:00 利用期間 屋内：通年 屋外：5月～10月	2-2188	問い合わせ：文化センターTOM
	湧別屋内ゲートボール場	栄町155番地の6	火～土：9:00～22:00 日・祝：9:00～17:00 月：休館	5-2229	問い合わせ：湧別総合体育館
	五鹿山パークゴルフ場	北兵村二区100番地	日の出～日の入り 利用期間 4月～11月	2-3111	54ホール
	芭露パークゴルフ場	芭露2334番地の16	日の出～日の入り 利用期間 4月～11月	6-2138	18ホール
	五鹿山スキー場	北兵村二区100番地	10:00～21:00 利用期間 1月～3月	2-3111	
芭露スケートリンク	芭露882番地	9:00～21:00 利用期間 12月下旬～2月	5-3132	問い合わせ：社会教育課	



令和4年4月26日

湧別町社会教育委員の会
委員長 深谷 聡 様

湧別町教育委員会
教育長 阿 部 勉

第3次湧別町社会教育中期計画の策定について（諮問）

現在、本町の社会教育は、「人、自然、ふるさとから学び、地域と共に生きる」をテーマとした第2次社会教育中期計画（平成30年度から令和4年度）に基づき、人と人とのつながりを大切にしまちづくりを念頭において社会教育活動を推進してまいりましたが、本計画も最終年度を迎えることとなります。

この間、少子高齢化のさらなる加速、急速に進むデジタル化、SDGsに代表されるエネルギー・環境への取り組みなど、社会環境はめまぐるしく変化しています。特に、新型コロナウイルス感染症による影響は大きく、長期にわたる自粛生活やイベントの中止など、人と人との接触機会の減少によって地域コミュニティの衰退が大きな問題となる一方、オンラインを活用したデジタル技術が一気に普及するなど、コロナ禍を機に私たちを取り巻く環境は大きく変化しています。

このような社会情勢の中で、町民の皆様がこの地域で相互に学びあい、その力を地域で発揮できるような環境を整備し、社会教育の基本である人との繋がりを大切にしながら、感染症対策を両立させる新たな事業スタイルの確立が求められております。

これらのことから、第2次計画の反省・評価を踏まえ、令和4年3月に策定された第3期湧別町総合計画との整合性を図りながら、社会教育行政の目的・目標・その達成のための方策・事業等を体系的に整理することによって効果的かつ効率的な行政運営を図るため、これからの湧別町の5ヵ年（令和5年度から令和9年度）の第3次湧別町社会教育中期計画の策定について諮問いたします。

なお、計画の策定にあたっては、より地域住民に密接でかつ専門性の高い、スポーツ推進委員および図書館協議会委員の意見をその領域において最大限に反映できるよう配意願います。

○計画書の構成（案）について

はじめに　・・・策定の経緯、趣旨、検討状況など

第1章 社会教育中期計画の基本構想

- 第1節 計画策定の意義
- 第2節 計画策定の基本方針
- 第3節 計画策定の方法
- 第4節 計画の名称及び期間

第2章 社会教育中期計画の基本

- 第1節 湧別町総合計画
- 第2節 教育目標
- 第3節 学校教育目標
- 第4節 社会教育目標
- 第5節 社会教育推進の構造

第3章 社会教育の現状と課題・推進目標

- 第1節 家庭教育の現状と課題・推進目標・推進項目
- 第2節 少年教育の現状と課題・推進目標・推進項目
- 第3節 青年教育の現状と課題・推進目標・推進項目
- 第4節 成人教育の現状と課題・推進目標・推進項目
- 第5節 高齢者教育の現状と課題・推進目標・推進項目
- 第6節 芸術文化活動と文化施設整備の現状と課題・推進目標・推進項目
- 第7節 図書館活動の現状と課題・推進目標・推進項目
- 第8節 博物館活動・文化財保護活動の現状と課題・推進目標・推進項目
- 第9節 スポーツ振興とスポーツ施設整備
の現状と課題・推進目標・推進項目
- 第10節 生涯学習の基盤整備と社会教育施設整備
の現状と課題・推進目標・推進項目

付属資料

- 第3次湧別町社会教育中期計画の策定について（諮問）
- 第3次湧別町社会教育中期計画の策定について（答申）
- 第3次湧別町社会教育中期計画の審議経過
- 湧別町の概要
- 社会教育関係団体
- 社会教育関連施設
- 社会教育関係委員
- 教育委員会社会教育課職員

○基本構想（案）について

第1章 社会教育中期計画の基本構想

第1節 計画策定の意義

本町の社会教育は、「人、自然、ふるさとから学び、地域と共に生きる」をテーマとした第2次社会教育中期計画（平成30年度から令和4年度）に基づき、人と人とのつながりを大切にしまちづくりを念頭において社会教育活動を推進してまいりましたが、本計画も最終年度を迎えることとなります。

この間、少子高齢化のさらなる加速、急速に進むデジタル化、SDGsに代表されるエネルギー・環境への取り組みなど、社会環境はめまぐるしく変化しています。特に、新型コロナウイルス感染症による影響は大きく、長期にわたる自粛生活やイベントの中止など、人と人との接触機会の減少によって地域コミュニティの衰退が大きな問題となる一方、オンラインを活用したデジタル技術が一気に普及するなど、コロナ禍を機に私たちを取り巻く環境は大きく変化しています。

このような社会情勢の中で、町民の皆様がこの地域で相互に学びあい、その力を地域で発揮できるような環境を整備し、社会教育の基本である人との繋がりを大切にしながら、感染症対策を両立させる新たな事業スタイルの確立が求められております。

これらのことから、第2次計画の反省・評価を踏まえ、令和4年3月に策定された第3期湧別町総合計画との整合性を図りながら、社会教育行政の目的・目標・その達成のための方策・事業等を体系的に整理することによって効果的かつ効率的な行政運営を図るための指針となる第3次社会教育中期計画を策定するものです。

第2節 計画策定の基本方針

令和4年3月に策定された「第3期湧別町総合計画」と、平成24年2月に策定された「湧別町教育目標」の理念を基本とし、さらに第2次計画の反省・評価から各領域の課題を踏まえ、今後5年間における社会教育推進の計画を策定します。

また、単年度における反省・評価の検証を行い、中間地点での見直しなどの検討を加え、本計画で示す目標に向け社会教育の推進を図っていくものです。

この計画は、社会教育の施策を展開するうえで基本となるものであり、町民の主体的な学習活動が図られ、地域づくりへの参画が促進されるよう地域の教育力の充実を目指し、具体的な施策の推進を図ります。

第3節 計画策定の方法（仮）

計画策定の第1段階として現状と課題の把握のため、第2次計画のふりかえり（反省・評価・課題の洗い出し）を重視しました。第2段階は目標と施策について協議を行いました。この中で、「生涯学習の基盤整備、社会教育施

設、少年教育、青年教育」「家庭教育、成人教育、高齢者教育」「芸術・文化活動、博物館活動・文化財保護活動、文化施設」「図書館活動」「スポーツ振興、スポーツ施設」の5つの専門部会を設け、より深い討議を行いました。

計画案の策定にあたっては社会教育委員が行いますが、図書館部会およびスポーツ部会にあっては、一定の分野においてより地域住民に身近でかつ専門性の高い図書館協議会委員とスポーツ推進委員による部会運営を依頼し、社会教育委員はオブザーバーとして参加することで、その意見を最大限反映できるよう努めました。

第4節 計画の名称及び期間

この計画の名称は「湧別町第3次社会教育中期計画」と称し、期間は令和5年度から9年度までの5年間とします。

<参考>これまで策定された社会教育中期計画

①合併前

湧別町第1次社会教育中期計画	(昭和62年度～平成 3年度)
湧別町第2次社会教育中期計画	(平成 4年度～平成 8年度)
湧別町第3次社会教育中期計画	(平成 9年度～平成13年度)
湧別町第4次社会教育中期計画	(平成14年度～平成19年度)
湧別町第5次社会教育中期計画	(平成20年度～平成24年度)
第1次上湧別町社会教育中期計画	(昭和61年度～平成 2年度)
第2次上湧別町社会教育中期計画	(平成 3年度～平成 7年度)
第3次上湧別町社会教育中期計画	(平成 8年度～平成12年度)
第4次上湧別町社会教育中期計画	(平成13年度～平成17年度)

②合併後

湧別町第1次社会教育中期計画	(平成25年度～平成29年度)
湧別町第2次社会教育中期計画	(平成30年度～令和 4年度)

第2章 社会教育中期計画の基本

第1節 第3期湧別町総合計画（令和4年3月策定）

人と自然が輝くオホーツクのまち（将来像）
ともに考え、ともに行動し、みんなでつくる協働のまちづくり（基本理念）
豊かな心とふるさとを愛する心を育むまちづくり（教育文化分野）

第2節 教育目標（平成24年2月策定）

社会に参画できる実践的な能力をはぐくむ
自他を尊重し、ともに支える豊かな心をはぐくむ
自らを律し、自ら行動する積極的な心をはぐくむ
健やかな体と生命を尊ぶ心をはぐくむ
自然・環境を守り、伝統と文化を尊重し、郷土を愛する態度をはぐくむ

第3節 学校教育目標（平成24年2月策定）

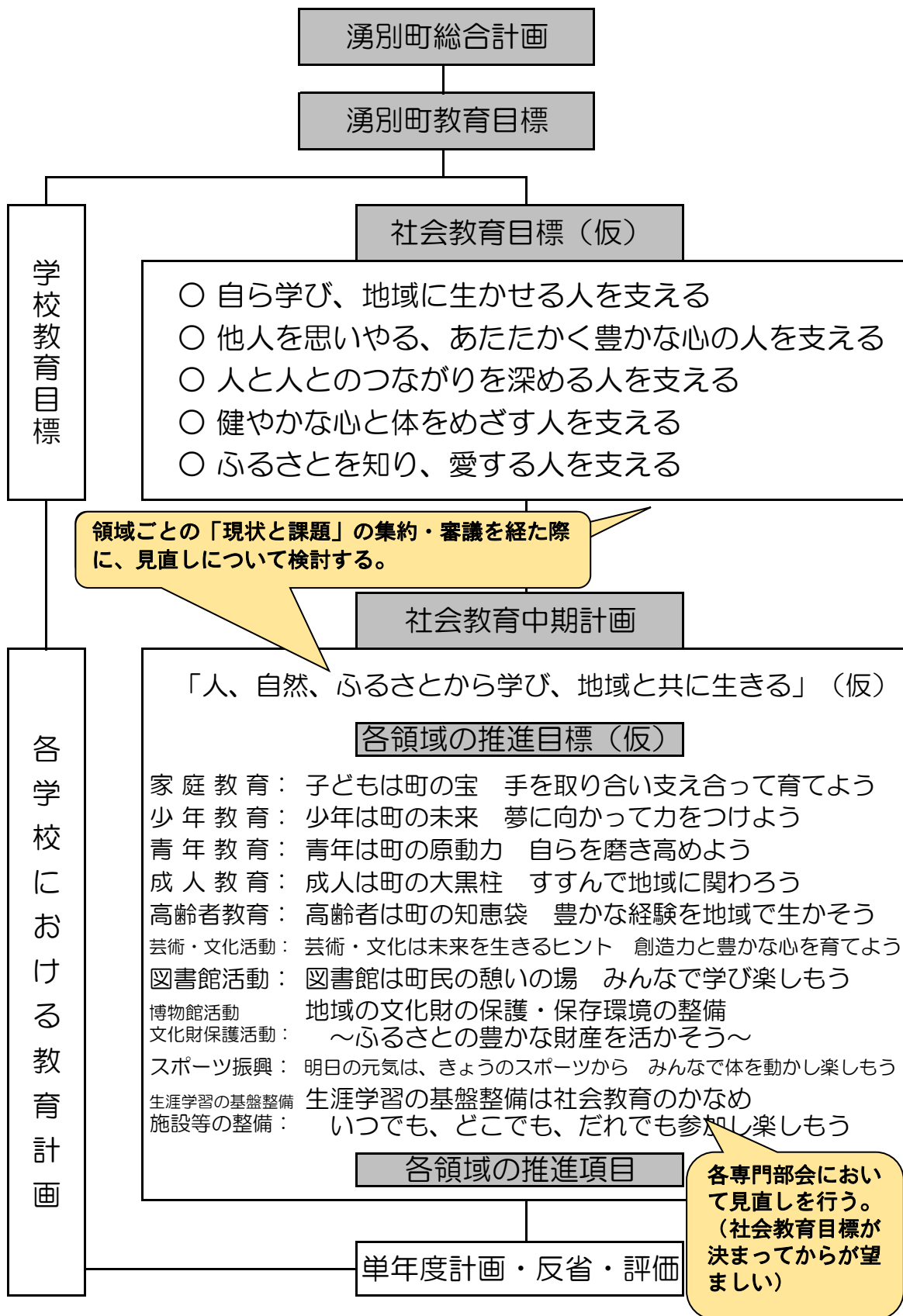
自ら学んで、知性を高め、正しく判断する子どもを育てる
思いやりの心を持って、お互いに協力する子どもを育てる
忍耐力と自律の心を持ち、進んで行動する子どもを育てる
健やかな心身を持ち、自他の生命を尊重する子どもを育てる
ふるさとに学び、ふるさとを愛する子どもを育てる

第4節 社会教育目標（平成25年3月策定）（仮）

領域ごとの「現状と課題」の集約・審議を経た際に、
見直しについて検討する。

自ら学び、地域に生かせる人を支える
他人を思いやる、あたたかく豊かな心の人を支える
人と人とのつながりを深める人を支える
健やかな心と体をめざす人を支える
ふるさとを知り、愛する人を支える

第5節 社会教育推進の構造（案）



○専門部会の構成について

第3次湧別町社会教育中期計画各専門部会における領域と担当委員をつぎのとおりとします。

部会	領域	部会長	副部会長	担当委員	担当職員
1	生涯学習の基盤整備・社会教育施設・少年教育活動・青年教育活動				坂本、渡辺、仁木、鈴木
2	家庭教育活動・成人教育活動・高齢者教育活動				坂本、渡辺、仁木、鈴木
3	芸術文化活動・博物館文化財活動・文化施設				坂本、渡辺、仁木、中島、林
4	図書館活動			図書館協議会委員全員 オブザーバー（ ）	中島、高橋、北村
5	スポーツ活動・スポーツ施設			スポーツ推進委員全員 オブザーバー（ ）	坂本、藤本、原

※第4・第5部会については、図書館協議会委員・スポーツ推進委員に部会協議・運営を依頼する。
（別紙のとおり）また、社会教育委員（1～2名）がオブザーバーとして部会協議に参加する。

令和4年 月 日

湧別町スポーツ推進委員長 様
湧別町図書館協議会委員長 様

湧別町社会教育委員の会
委員長 深谷 聡

第3次湧別町社会教育中期計画の策定にかかる意見の聴取について（依頼）

これからの湧別町の5ヵ年（令和5年度から令和9年度）の第3次湧別町社会教育中期計画の策定については、別添写しのとおり令和4年4月26日付けで湧別町教育委員会からの諮問を受け、令和5年3月の策定に向けて審議を進めることとしております。

つきましては、つぎのとおり貴団体としての意見集約を賜りますようお願い申し上げます。

記

担当領域

- スポーツ推進委員：「社会教育の現状と課題・推進目標」
（スポーツ振興・スポーツ施設領域）
- 図書館協議会委員：「社会教育の現状と課題・推進目標」
（図書館活動領域）

意見集約の方法

事務局作成の素案について専門部会による審議を行い意見集約願います。

報告の期限

別添のスケジュールにより報告願います。

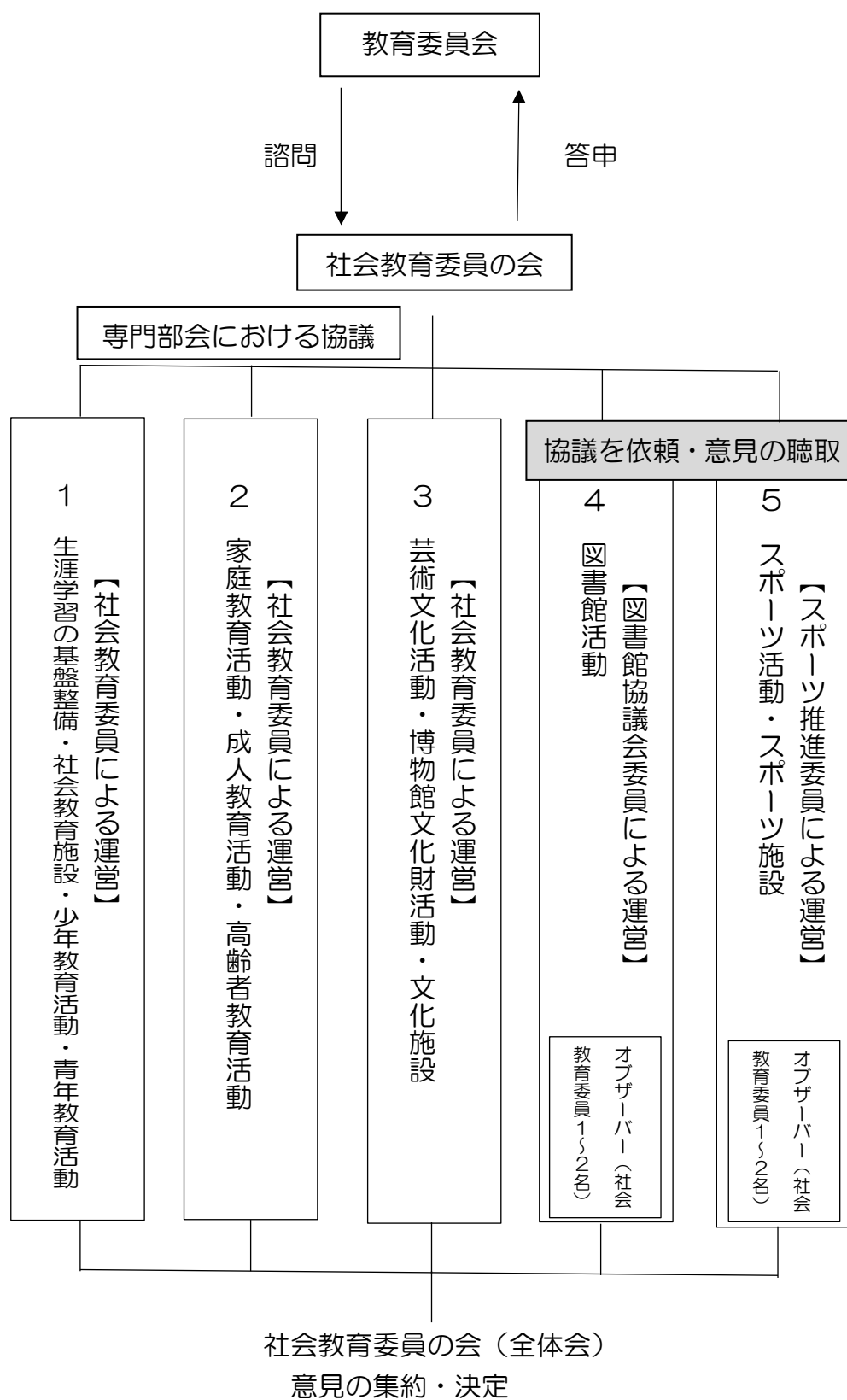
その他

審議にあたってはつぎの資料等を参考に共通認識を図っていただくようお願いいたします。また、途中、社会教育委員の会による全体の間集約を経た後に、再度審議いただくなど連携をとりながら進めてまいりたいと存じますのでご協力願います。

- ・第3次湧別町社会教育中期計画策定の諮問書（写）
- ・第3次湧別町社会教育中期計画書の構成
- ・第3次湧別町社会教育中期計画の基本構想

（事務局：教育委員会社会教育課社会教育グループ）

図書館協議会委員・スポーツ推進委員との関わり



第3次湧別町社会教育中期計画策定までのスケジュールについて

時 期	内 容
令和3年12月 8日	社会教育委員等研修会「社会教育中期計画の策定のために必要な視点」北海道大学 宮崎教授
令和3年12月 8日 (第3回定例会議)	第1次社会教育中期計画のふりかえり (家庭教育、少年教育)
令和4年 1月26日 (臨時会議)	第1次社会教育中期計画のふりかえり (青年教育、成人教育、高齢者教育、芸術文化、図書館)
平成4年 3月25日 (第4回定例会議)	第1次社会教育中期計画のふりかえり (文化財、スポーツ活動、基盤整備)
令和4年 4月22日 (4月定例教育委員会)	教育委員会において、計画策定にかかる諮問についての議案提出
令和4年 4月26日 (第1回定例会議)	教育委員会から社会教育委員の会へ諮問書の提出 基本構想の確認、専門部会担当委員の決定、今後のスケジュールの確認 ●社会教育委員の会より、スポーツ推進委員、図書館協議会委員に対して専門部会の立ち上げ(意見聴取)を依頼
令和4年6月 ～ 9月 策定会議(専門部会)	①「現状と課題」(素案)の協議・まとめ (専門部会ごとに1～2回程度の開催) (素案は第2次計画のふりかえりをもとに事務局で作成)
令和4年10月 (第2回定例会議)	「現状と課題」の集約・審議、社会教育目標の見直し 中期計画テーマの見直し
令和4年10月 ～11月 策定会議(専門部会)	②「推進目標・推進項目」(素案)の協議・まとめ (専門部会ごとに1～2回程度) (素案は第2次計画のふりかえりをもとに事務局で作成。)
令和4年12月 (第3回定例会議)	計画全体の集約と審議、計画(案)の完成
令和5年1月	正副委員長より計画(案)を教育委員会(教育長)へ答申 答申後、教育委員会において答申の報告
令和5年1月10日 ～2月9日	パブリックコメントの募集(約1ヶ月)
令和5年2月	計画に修正を生じる場合、必要に応じ社会教育委員の会議を開催し意見を求める。公募結果の公表
令和5年3月	公募結果について教育委員会へ報告、計画の決定(策定) 印刷・発行

専門部会の構成について【5部会】

- 1 生涯学習の基盤整備・社会教育施設・少年教育活動・青年教育活動
- 2 家庭教育活動・成人教育活動・高齢者教育活動
- 3 芸術文化活動・博物館文化財活動・文化施設
- 4 図書館活動 (図書館協議会委員による運営)
- 5 スポーツ活動・スポーツ施設 (スポーツ推進委員による運営)

令和4年度各種研修会等の予定について

研修会等	月日	会場	内容	期待人数
遠紋地区社会教育委員研修会	未定	滝上町	遠紋地区委員対象の研修会	4名
管内社会教育振興セミナー	未定	小清水町	管内の委員対象の研修会	4名
北海道社会教育研究大会	10/14 金	留萌市 オンライン	全道の委員対象の研修会	2名
地域生涯学習活動実践 交流セミナー	2月	札幌市	全道の職員中心の研修会 講演、優良事例発表、分科会	1名
北海道市町村社会教育 委員長等研修会	7/7-8 木-金	札幌市	各市町村委員長等対象の研修会	2名

令和3年度実績			令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	備 考
月日	会場	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数	
10/24 日	佐呂間町	2名	2名	3名	5名	12名	5名	4名	令和5年度湧別主管開催
11/21 日	置戸町	1名	中止	4名	5名	3名	2名	4名	令和9年度湧別主管開催
10/7-8 木-金	函館市	中止	中止	1名	3名	4名	2名	2名	平成29年度は全国大会を兼ねた
2/15 火	オンライン	0名	中止	1名	1名	1名	2名	1名	令和2、3年度はオンライン開催
7/9-10 金-土	札幌市	中止	中止	1名 委員長	2名 委員長 副委員長	/	2名 委員長 副委員長	2名 委員長 副委員長	

会 議	月日	会場	内容	出席
社会教育委員会議（定例会）	4月、10月 12月、3月	町内	事業計画策定、事業評価など	全員
管内社会教育委員連絡協議会	4/22 金	網走市	総会	委員長
中期計画策定会議 部会	6～11月	町内	中期計画「現状と課題」「推進 目標」「推進項目」の協議	

月日	会場	出席者	出席者	出席者	出席者	出席者	出席者	出席者	出席者	備 考
4/28水	さざ波	8名	10名	6名	11名	12名	9名	12名		
10/28木	さざ波	12名	10名	5名	12名	14名	10名	10名		
12/8水	さざ波	11名	8名	8名	13名	13名	9名	13名		
1/26水	TOM	12名	12名	書面	12名	13名	11名	13名		
3/25金	さざ波	10名	12名				11名	14名		
5/12水	網走市	書面協議	書面協議	1名	1名	1名	1名	1名		
/	/	/	/	/	/	延べ 62名	/	/		

令和4年 4月 社会教育課 事業等予定表

日	曜日	中止等	行事名	担当	時間	場所	備考
1	金						
2	土						
3	日						
4	月		教職員辞令交付式 保育所入所式	教育総務課 各保育所		さざ波 各保育所	
5	火						
6	水		小学校中学校義務教育学校入学式・始業式	各学校		各学校	
7	木		校長教頭合同会議				
8	金		湧別高校入学式	学校		湧別高校	
9	土		健康運動教室 健康運動教室	社会教育G 社会教育G	10 : 00 14 : 00	湧別総合体育館 湧別総合体育館	
10	日						
11	月						
12	火						
13	水						
14	木						
15	金						
16	土						
17	日						
18	月						
19	火		チューリップ生きがい大学「開講式・自治会総会」	社会教育課	10 : 00	さざ波	
20	水						
21	木						
22	金						
23	土		健康運動教室 健康運動教室 体験塾①「入塾式」	社会教育G 社会教育G 社会教育G	10 : 00 14 : 00 10 : 00	湧別総合体育館 湧別総合体育館 さざ波	
24	日						
25	月						
26	火						
27	水						
28	木						
29	金		昭和の日				
30	土						

令和4年度社会教育事業及び関係団体等 計画表

4 月		5 月		6 月		
1	金		日	チューリップフェア～6月上旬	水	
2	土		月		木	
3	日		火	憲法記念日	金	
4	月	教職員辞令交付式(さざ波)	水	みどりの日	土	健康運動教室 上中運動会
5	火		木	こどもの日	日	湧小・芭露学園運動会
6	水	小中学校・芭露学園入学式・始業式 渡辺組(TOM)	金		月	
7	木	↓	土		火	
8	金	湧別高校入学式	日	ゆうべつ五鹿山マラソン2022 チャレンジスポーツスクール①	水	チューリップ生きがい大学町内バスツアー
9	土	健康運動教室	月		木	
10	日		火		金	
11	月		水		土	チャレンジスポーツスクール②
12	火		木	管内社会教育担当者研修会	日	町民ランニング教室
13	水		金	↓	月	
14	木		土	湧ゆう湧くわく体験塾②チューリップフェアボランティア 健康運動教室 お宝をたずねる旅(五鹿山)	火	
15	金		日	ホタテ稚貝放流(例年15日～31日頃まで)	水	
16	土		月		木	児童宿泊研修会
17	日		火	チューリップ生きがい大学アイヌ文化	金	↓
18	月		水		土	湧ゆう湧くわく体験塾③パークゴルフ 健康運動教室 芭露保育所運動会
19	火	令和4年度チューリップ生きがい大学開講式・自治会総 会	木		日	
20	水		金		月	
21	木		土	チューリップを愛でる会	火	
22	金		日		水	
23	土	健康運動教室 湧ゆう湧くわく体験塾①入塾式	月		木	
24	日		火		金	
25	月		水	チャレンジデー2022	土	
26	火		木		日	100kmウルトラマラソン大会(中止)
27	水		金		月	
28	木		土	健康運動教室 上小・中小・湧中運動会	火	
29	金	昭和の日	日	開盛・富美・上富美運動会	水	
30	土		月		木	
31			火			

湧 図 第 4 号
令和 4 年 4 月 6 日

社会教育課長 様



図書館長 中 島 一 之

子どもの読書活動推進計画策定委員の推薦について（お願い）

平素より図書館活動に格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当館では湧別町の子どもたちが、あらゆる場所において読書環境が整備され、自主的に読書活動ができるよう、湧別町子どもの読書活動推進計画の策定準備をすすめているところです。計画期間は、令和4年度から5年間を予定しております。

つきましては、計画策定にあたり様々な立場からのご意見を賜りたく、貴職に策定委員の推薦をご依頼するものです。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、下記によりよろしくお願い申し上げます。

記

- | | |
|-----------|----------------------------------|
| 1. 推薦依頼団体 | 湧別町社会教育委員 |
| 2. 推薦依頼人数 | 1名 |
| 3. 推薦期限 | 令和4年5月31日までに別紙様式でご推薦ください。 |
| 4. 参考事項 | 1) 委員名称 子どもの読書活動推進計画策定委員 |
| | 2) 根拠条例 湧別町子どもの読書活動推進計画策定委員会設置要綱 |
| | 3) 委嘱期間 令和4年6月教育委員会議決の日から計画策定まで |
| | 4) 審議予定 第1回会議 7月 |
| | 担当者会議 7月～8月 |
| | 第2回会議 8月 |
| | 第3回会議 9月 |